



日本旅行

体を動かしながら動詞を学ぶ



メアリー・グレース・
ブラウニング
Mary-Grace Browning
カウンティ中 / 高校
(英国、サフォーク州)

授業のねらい

日本地図を描いた大きなマットの上を旅行しながら、つまり実際に体を動かしながら、動作を表す動詞の基本的な用法を学習する。それと同時に、日本地理の基礎を学ぶ。

学習項目

言語面

機能	表現	語彙
<ul style="list-style-type: none"> ❖どこに行くかを言う / 質問する ❖誰と行くかを言う / 質問する ❖どのような交通手段で行くかを言う / 質問する 	<ul style="list-style-type: none"> ❖(場所)にいきます(か) (人)といきます(か) (交通手段)でいきます(か) どのところですか 	<ul style="list-style-type: none"> ❖地名、県名、主要4島の名前、交通手段の名称など

文化面

北海道、本州、四国、九州、および主要都市の位置を学ぶ
それらの場所の観光名所について学ぶ

LESSON PLAN

用意するもの

レッスン1

OHP / 地図のOHPシート(資料*)
 日本地図を描いた大きなマット
 スーツケース

レッスン2

日本地図を描いた大きなマット
 スーツケース

レッスン3

日本地図を描いた大きなマット
 スーツケース
 交通手段を描いたフラッシュカード

授業の進め方

レッスン1:「どこにいきますか」

準備

地図を描くマットは、3メートル×4メートルぐらいの大きさがいいが、教室の大きさに合わせて用意するといい。地図をマットに描き写す時は、マットを黒板にかけ、OHPを使って日本地図をマットに投射し、輪郭をなぞるといい。日本地図の東と西の方向に矢印をつけて、東にはアメリカ、西には中国があることがわかるようにすると一層いい。

1. 本州、九州、四国、北海道の紹介
 OHPで地図を見せて、主要4島の名前を教える。
2. 「どこにいきますか」
 教師はスーツケースを持ち上げて、「どこにいきますか」と言う。そして、誰かがスーツケースを持ち上げたら、「どこにいきますか」と質問するように指示する(スーツケースは、「税関での会話」ゲームを行う時にも使う。たとえば「かばんのなかになにがありますか」など)。
3. 地図の上を旅行
 1. 教室に日本地図のマットを広げる。児童たちを地図の周りに立たせる。
 2. まず、教師がスーツケースを持ち上げ、児童に「どこにいきますか」と質問させる。教師はたとえば「きゅうしゅうにいきます」と答えて、実際に地図マットの上を九州の位置まで歩く。児童が日本の主要4島の位置を覚えるまで繰り返す。
4. 旅行ゲーム(10～15分)
 「どこにいきますか」という質問は、「あなたはどこ

にいきますか」という意味にもなれば、「わたしたちはどこにいきましょうか」という意味にもなるので、児童たちに「どこにいきますか」という質問をさせ、教師が主要4島のどれかの名を挙げて、児童たちにその島に行かせるというゲームをしてもいい。その場合、その島に最後に到着した児童と教師が相談して、次に行く島を決めるという形でゲームを続ける。ゲームを長時間続けたければ、地図マットに、児童たちの学習レベルに応じた数の主要地名を書き加えるといい。

レッスン2:「だれといきますか」

準備

地図マットに、少なくとも児童数の半分の数の地名や名所を書き加えておく。児童数28名のクラスであれば、14の地名を書く。たとえば、社会科で学習する地名として、とうきょう、よこはま、なごや、おおさか、ひろしま、ながさき、こうべ、きょうと、なら、などが挙げられる。また、名所としては、ふじさん、びわこ、あそさん、とうやこ、はちろうがた、などがいい。さらに、私は姉妹校の所在地、さっぽろ、あきた、ふじさわ、おおいた、なども書き加えた。

1. レッスン1の復習
 レッスン1を復習し、必要な数だけ、地名を教える。
2. 新しい質問の導入
 「だれといきますか」という新しい質問文を教える。その時、たとえば相手の手を取るジェスチャーを加えてもいい。
3. ジェスチャーを交えて答えさせる
 児童たちを地図マットの周りに集め、「だれといきますか」という質問をさせる。教師は、「～さん/くんといきます」と答えて、指名した児童の手を取って地図マットの上に進む。次に、周りの児童たちが地図マット上にいる児童に「だれといきますか」と質問する。地図マットの上にいる児童は、「～さん/くんといきます」と答えながら、その児童の手を取って、地図マットの上に連れてくる。このように、連れてこられた児童に、他の児童が「だれといきますか」と質問し、また連れてくるということを繰り返す。
4. 二つの質問をつなぐ
 教師がスーツケースを持ち上げ、児童たちに「どこにいきますか」と質問させる。教師は、たとえば東京に行くのであれば、「とうきょうにいきます」と答える。そして地図マットの東京の位置に向かう前に、手を差し出す。それを合図に、児童たちに「だれと

いきますか」という質問をさせて、教師は「～さん/くんといきます」と答え、選んだ児童の手を取って、地図マットの東京の位置まで連れていく。

5. 全員での演習

児童全員を2人1組にし、縦に並ばせる。一番前の2人に「どこにいきますか」と質問して、2人に行き先を決めさせて「～にいきます」と答えさせる。次に「だれといきますか」と質問して、2人にそれぞれ互いの名を入れて「～さん/くんといきます」と答えさせる。2人が地図マット上の目的地に着いたら、別の地名を入れて「～にいきます」と一緒に言い、地図マット上のその場所に行く。それと同時に、2番目の2人は、「～にいきます」「～さん/くんといきます」と言って、1番目の2人が選んだ最初の場所へ移動する。同じようにして、全部の組が、最初の組が選んだ行程をたどっていく。全体としては雑然とした状態になるが、教師は児童たちのあとを追いながら、彼らの発音、構文、日本地理の知識をチェックすることができる。

レッスン3：「何でいきますか」

1. レッスン1、2の復習

2. 交通手段の導入

いくつかの交通手段を描いたフラッシュカードを使用する。地図マットに記してある地名の数と同じ数のカードを用意する。カードは、プラスチックケースに入れるか、プラスチックのフィルムで包装しておいたほうがいい。私は初級段階のクラスでは絵だけのフラッシュカードを使うが、ひらがなや漢字を学習したクラスでは、ひらがな漢字、あるいはひらがなと漢字の両方を書きこんだカードを使う。

3. 新しい質問文の導入

車のハンドルを動かすジェスチャーをしたり、腕を広げて飛行機の翼をまねたりしながら、「何でいきますか」という質問文を教える。そしてフラッシュカードを見せながら、「～でいきます」という答えを児童たちに復唱させる。習熟度の高いクラスでは、「あるいていきます」を加えてもいい。また、それと同時に、近い距離を移動する手段である「自転車」や「スケートボード」や「ローラーブレード」というカードも用意する。

4. 三つの質問をつなぐ

児童たちを地図マットの周りに集め、教師はスーツケースを持ち上げる。児童たちに「どこにいきますか」という質問をさせ、教師は「～にいきます」と答える。続いて、児童たちに「だれといきますか」と質問させ、教師は「～さん/くんといきます」と

答える。教師がその児童の手を取ったら、児童たちに「何でいきますか」と質問させる。教師はその児童に「～でいきます」という文で、交通手段を一つ挙げ、その児童にフラッシュカードの中から、教師が指示した交通手段が描いてあるカードを選び出させる。それから、地図マット上を目的地まで行かせ、フラッシュカードをその場所に置かせる。次に、その児童と一緒に旅行に行く相手を選び、同じ手順で、新しい児童に別のフラッシュカードを別の目的地まで運ばせ、そこに置かせるというふうにゲームを続ける。

5. 全員での演習

全員で行う場合は、レッスン2の5の手順にしたがって行う。フラッシュカードを持って移動する前に、「～にいきます」「～さん/くんといきます」「～でいきます」という文を言わせるようにする。

レッスン4以降のアイデア

- 1 動詞の過去形を教え、旅程を述べさせる。
- 2 「きます/きました」を使って、適当な旅程を考えさせ、表現させる。
- 3 「～にいきます」の中に、時を表す語句(今日、明日、日付、時刻など)を導入する。
- 4 「～にいきます」の中に、「旅行目的」を導入する。
- 5 「～てください」の文を教え、地図マットのある場所に行かせるゲームを行う。
- 6 「どんなところですか」という質問と答え方を教える。教師は地図マットにある土地についての情報を提供する。児童を指名して、他の児童たちを地図マット上のいろいろな土地に案内させ、それぞれの土地では、どのような食べ物がおいしいか、どのような名所があるかなどの説明をさせる。
- 7 OHPシートは、方向、天気、桜前線などを教える際にも利用できる。

選考委員会から

このレッスンプランは完成度が高いものですが、さらに次のような応用が考えられます。日本に姉妹校や姉妹都市があれば、その地域の詳しい地図や情報を入手して使うといいでしょう。また、自分の国や地域について日本語で表現する練習もできます。日本人向け旅行ガイドブックや地図で、自分の国や地域の都市や名所がカタカナでどのように表記されているかを児童に探させるのもいいでしょう。児童がガイド役となり、このレッスンプランで挙げられている表現や語彙を使って、日本人訪問客のために自分の国や地域を紹介するロールプレイをするのもいいでしょう。

日本地図

